本資料は pH 変動及び外観変化を観察した参考資料であり、他剤との配合後の品質を保証するものではありません。

アミノフィリン静注 250mgPB「日新」　pH 変動試験

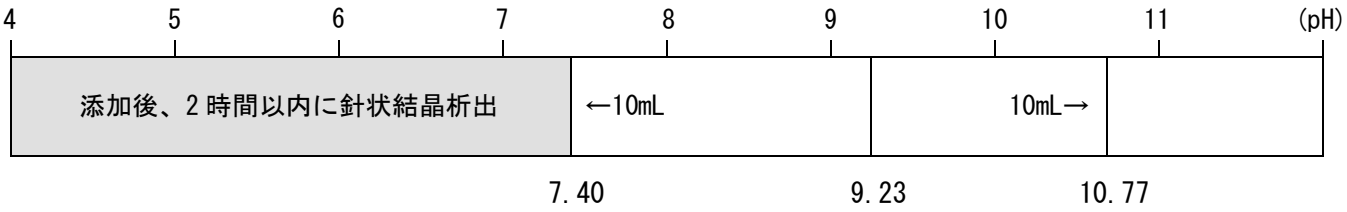
（日本薬局方　アミノフィリン注射液）

日新製薬株式会社

1．pH 変動試験

アミノフィリン静注 250mgPB「日新」（10mL）に 0.1mol/L 塩酸あるいは 0.1mol/L 水酸化ナトリウム液を加え（各々の最大添加量は 10mL）、pH 変動及び外観変化を観察した。

アミノフィリン静注 250mgPB「日新」　　10mL 中：アミノフィリン水和物 250mg 含有
pH 規格：8.0～10.0　　外観：無色澄明



2．まとめ

アミノフィリン静注 250mgPB「日新」は、0.1mol/L 塩酸を添加した場合、最大量である 10mL を添加後の最終 pH は 7.40 であったが、その後 2 時間以内に針状結晶が析出した。

一方、0.1mol/L 水酸化ナトリウム液を添加した場合、最大量である 10mL の添加においても外観上の変化は認められず、最終 pH は 10.77 であった。

2019 年 6 月改訂